

イベント情報

2021年5月9日(日)～発売中

第16回東大島亭 柳亭市弥・入船亭小辰 二人会

注目の若手が隔月で開催する落語会「東大島亭」。第16回は、柳亭市弥、入船亭小辰の二人会です。

人気と実力を兼ね備えた二人の落語をお楽しみください。

出演：柳亭市弥(左)
入船亭小辰(右)



日時	2021年	開演 14:00 (開場 13:30)		
	7.17(土)			
料金	一般前売	1,500円	ティア友の会	1,300円
	当日	1,800円	友の会当日	1,600円
会場	2階 第1和室(全席椅子席) 全席自由・6歳以上(※小学生以上)入場可			
申込	江東区東大島文化センター 03-3681-6331 (9:00～21:00) https://www.kcf.or.jp/oyaku/ticket/			

東大島文化センター SNSページ紹介

実はアカウント持っているんです“SNS”…。最新の情報や、職員ならではの視点の投稿が面白いかも…!? ぜひチェックしてください♪

facebook

公式ページ 東大島文化センター

東大島文化センターの最新の情報をお届け!



instagram

アカウント名: ikimono.higashiojima

夏に開催する川と緑の生きもの展(詳細はページ3参照)を中心に更新。



お・ま・け 新しいおともだちを紹介!

川と人が大好き!

カワカミくん と カワシモちゃん



チャームポイント：川の字バンゲ 前髪命!
二人の関係性：ないしょ
座右の銘：嫌なことは水に流そう



公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
江東区東大島文化センター

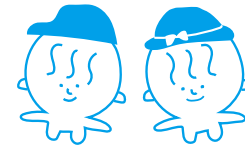
TEL. 03-3681-6331
FAX. 03-3636-5825

〒136-0072 江東区大島 8-33-9 (地図参照)
休館日：第1・3月曜日、ただし国民の祝日にあたる場合を除く

川に沿い、人に添う



チャームポイントは川の字バンゲ!



カワカミくん と カワシモちゃん

もくじ

- 1 “おり～ぶ”紹介
- 2 ぶらり小名木川
- 3 夏だ! イベント情報
- 4 イベント情報その2 SNSページ紹介

東大島文化センターのとりくみ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館の際は事前の検温、手指の消毒にご協力をお願い申し上げます。本紙掲載の各事業を行う際は、対策を十分に行ったうえで実施します。

※今後の動向により、やむをえず事業を中止または延期する場合があります。

小名木川といえば…!

東大島文化センターで月1回活動する小名木川リバーガイド倶楽部(おなぎがわりばーがいでくらぶ)は、通称“おり～ぶ”の名で親しまれています。

「おり～ぶ」紹介

東大島文化センターの講座受講生が自主グループとして立ち上げました。活動の一環として、当館の川を中心とした事業には年間通して様々なご協力をいただいています。小学生を対象とした地域の川について学ぶ「小名木川リバーウォーク」、このセンターニュースではおり～ぶ会員の持ち回りでコラム「ぶらり小名木川」を執筆いただいています。会員は随時募集中、ご興味ある方は下記連絡先まで♪

【小名木川リバーガイド倶楽部】

活動日: 第3(水) 10:00～12:00 会費3,000円/年 問合せ: 清水 ☎03-3633-6050 shimiken426@gmail.com
小名木川とその周辺の歴史を遊びながら学習し、会員相互の親睦を目的としています。歴史に興味のある方歓迎します。

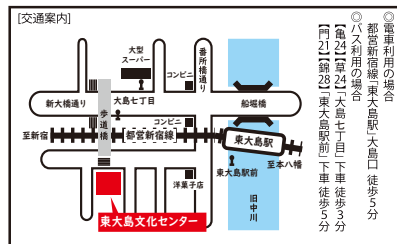
ぶらり小名木川執筆者紹介 関 映美さん

Q.“おり～ぶ”に入ったきっかけは?



家の前の運河を通る船のエンジン音を聞いていると、堅川「一の橋」近くにあった祖父の家を訪れ、川を見ていた子ども時分を思い出します。掘割が大好きな私が、小名木川とその周辺の河川の歴史を教えてくれる、「オリブの講座」に、年齢も考えずに応募したのは自然の流れ。しかし先輩方の求められた知識には脱帽です。そんな甘いものではないのです。ぶらり小名木川の原稿も、お借りした資料のおかげです。感謝いたします。

ぶらり小名木川は次のページへ!





小名木川リバーガイド倶楽部 会員 関 映美

「砂町運河」について

小名木川に架かる16橋の一つ「塩の道橋」の近くに仙台堀川公園がある。「以前ここには大きな運河があり、川幅36m、全長約3200mもありました」とガイドしながら、なぜここに運河を?の疑問は心に残っていた。この運河は「砂町運河」とよばれ、公園入り口から南下し、更に東高校前を西に進んで横十間川まで流れていた。

明治30年代頃から国は農業国から工業国へと舵を切った。砂町住民はこの流れを敏感に感じていた。大正6年(1917)10,1。東京湾へ入った台風は最高潮位3.0mとなり、砂町は高潮の被害を受けた。(記録には大津波とある)「この地域を水害から守り、工場誘致のため運河を開削する。」津波で甚大な被害を被った吉岡磯吉は、この遠大な計画への協力を洲崎養魚(株)の設立者、関直之に要請し、渋沢栄一、尾高次郎らの支援へと繋げた。尾高次郎は「東京運河土地株式会社」を設立。大正10年(1921)に工事設計の許可を得て、その後工事に着手。関東大震災を挟み昭和8年(1933)竣工。近代的な交通インフラ整備が遅れていた砂町に、運河による貨物輸送の道が開けた。しかし大震災は一帯の地盤沈下をもたらした。運河の護岸工事増築など維持管理費が想定以上に膨らみ、昭和16年(1941)に東京市への買い上げを要請した。昭和23年(1948)砂町運河は東京都に移管され、「砂町川」と改称。その後「仙台堀川」の一部となる。地盤沈下進行で堤防嵩上げも行ったが、陸上輸送の発達で、舟運の需要も減り、1970年代には砂町川は危険な状態になった。地域住民の埋め立て要望が高まり、昭和53年(1978)「河川の安全確保と再生」を課題とした工事が始まった。川の水路幅を1/7に狭め、埋め立てた部分を公園にする「埋め立て暗渠方式^{あんきよ}」だ。昭和55年(1980)4月仙台堀川は親水公園として再生した。「運河開削への出資者や貢献者の名前」が付いていた多くの橋は取り壊されたが、運河の完成を見ることなく大正9年(1920)に逝去した尾高次郎の功績をたたえて命名された「尾高橋」と「松島橋」は現存する。ちなみに大河ドラマ「青天を衝け」テーマ音楽の指揮者「尾高忠明」は尾高次郎の孫にあたる。

参考資料

○「砂町誌」抜粋

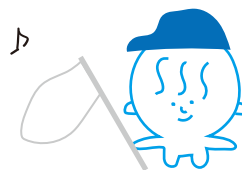
○江東区の歴史 江東区教育委員会社会教育課 昭和51年発行

○なぜ親水公園を造ったの? 土木部 水辺と緑の事務所



東大島で思い出をつくろう

イベント情報



虫取り大好き!
でも熱中症には
気を付けようね



第4回 2021年度東大島文化センター主催



江東区に生息するたくさんの種類の魚や昆虫を、解説とともに展示します。様々な水生生物を展示する「江東区ミニ水族館」のほか、テントの中で昆虫とふれあえる「むしむしハウス」やそれぞれの担当者による展示解説など、生きものと親しめる参加型展示もあります。夏休みの自由研究に役立つ関連ワークショップも開催!

ロビー 展示 7/21(水)~25(日) 9:00~20:00 入場無料・どなたでも

ロビー むしむしハウス 7/24(日)・25(日) 9:00~16:00 入場無料・どなたでも

ワークショップのお申込み ※6/10(水)より先着順で申込を受け、満員となりました。

「川と緑の生きもの展」詳細はホームページまたは館内設置のチラシをご覧ください。



夏の一日体験教室 8/22(日)10:00~15:00

手工芸や工作など、赤ちゃんから大人まで楽しめるイベントを開催します。

小学3年生以下は保護者同伴。詳細はホームページまたは館内設置のチラシをご覧ください。

ワークショップのお申込み

7/10(日)9:00より東大島文化センターのみで、電話または窓口で受付(先着順)



季節の展示 第14回東大島文化センター 七夕飾り

6/27(日)~7/8(木) 9:00~20:00 入場無料 ※7/5(日)は休館

地域のこどもたちの成長を願って、東大島文化センターのロビーに七夕飾りを展示します。みんなで短冊に願い事を書いて笹に飾りましょう。

短冊はロビーに用意しています。